

おさらい

次の4つをまとめて白鷹スタンダードとしています。

- ① 学びのスタンダード7…『学習の心構え』を記載
- ② 生活のスタンダード…『生活の習慣』を記載
- ③ 家庭学習の手引き…『家庭学習の習慣』を記載
- ④ 笑顔かがやく白鷹人7…『生活のスタンダードの最終目標』を記載

詳しくはHPへ▶



特集

笑顔かがやく白鷹人へ 白鷹スタンダード

Part 2

町の教育目標である『学び、集い、笑顔かがやく白鷹人』の育成を目指し、各小中学校、保育園・認定こども園、荒砥高等学校が連携を深めながら取り組んでいる“白鷹スタンダード”。前月号では、その取り組みの経過や概要を紹介しました。

では、実際に子どもたちはどのようなことに取り組んでおり、学習や生活の面でどのような変化を見せているのか。今回は、各小中学校での白鷹スタンダードへの取組状況等をお知らせします。



白鷹中学校 の取り組み

1学期と2学期にそれぞれ次のことに重点を置いて取り組みました。

【1学期】チャイム（タイム）着席・授業の始めと終わりのあいさつ

時間のけじめをつけるため、「チャイム着席の呼び掛け」と「できたかどうかの点検」を行いました。この結

果、2・3年生は授業の準備をしてからの着席ができるようになりましたが、1年生はなかなかうまくできません。そこで、3年生も呼び掛けに加わって取り組んだところ、しっかりとできるようになりました。

また、授業の始めと終わりのあいさつについては、「隣のクラスに聞こえるくらい大きな声であいさつをする」ことを目標に取り組みました。この結果、どのクラスでも大きな声であいさつができるようになりました。

【2学期】良い姿勢で学習・意欲的に授業に参加

授業中の姿勢を良くするため、「話す人を見てしっかりと聞く」ことを意識する取り組みを行いました。各クラスの学芸員が呼び掛けを行い、授業に出る先生に点検してもらいました。最初はなかなか全員そろってできないクラスもありましたが、最後には全員がしっかりとできるようにになりました。

また、授業に意欲的に参加する態度を育てるため、「積極的に挙手発言する」ための取り組みを行いました。具体

的には、挙手するときの手の形を、答えがわからない人は「グー」、自信のない人は「チョキ」、自信のある人は「パー」にして、全員が挙手できるように取り組みました。この結果、普段手を挙げない生徒も挙手できるようになり、学習への意欲につながりました。



鮎貝小学校 の取り組み

家庭学習の充実のため、次のような取り組みを行っています。

- ・「家庭学習の手引き」を見直し、児童全員に配付（低中高学年向けのもの）し、PTA総会及び学年部会総会で保護者に説明。
- ・本校の「自主学習のヒント」を併せて活用。
- ・児童のがんばりを紹介（学年通信・掲示）。
- ・「みんなの自学ノート」の取り組み。

・家庭学習の時間の確保（学年×10分、ノートやカードに時間を記入）。

いろんな児童の自学ノートを紹介し、それを参考にすることで家庭学習の充実を図っています！



- ・以上の取り組みから、次のような変化が見られました。
- ・毎日の家庭学習が習慣化してきた。
- ・ノートの使い方がわかり、意欲的に学習することができています。
- ・友だちや上級生の学習の仕方を参考にしている。
- ・お家の人からの見届けが励みになっている。
- ・時間を意識し、集中して学習できている。



東根小学校 の取り組み

生活のスタンダードについて次の3つに取り組んでいます。